



2024年2月期 決算短信〔IFRS〕（非連結）

2024年4月10日

上場会社名 バリオセキュア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4494 URL <https://www.variosecure.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶浦 靖史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 磯江 英子 TEL 03 (5577) 3284
 定時株主総会開催予定日 2024年5月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト及び個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の業績（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	2,640	0.2	520	△10.4	509	△6.1	347	△9.3	347	△9.3
2023年2月期	2,634	2.6	581	△22.7	542	△22.7	383	△23.4	383	△23.4

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	資本合計 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	76.96	76.12	6.4	6.6	19.7
2023年2月期	93.41	91.18	7.9	7.3	22.1

(参考) 持分法による投資損益 2024年2月期 -百万円 2023年2月期 -百万円

(2) 財政状態

	資産合計	資本合計	資本合計比率	1株当たり資本合計
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	7,649	5,548	72.5	1,227.87
2023年2月期	7,826	5,378	68.7	1,191.32

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	414	△173	△458	822
2023年2月期	522	△138	266	1,039

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	資本配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年2月期	-	0.00	-	40.50	40.50	182	43.4	3.5
2024年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,753	4.3	485	△6.9	474	△6.7	336	△3.2	74.47

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期	4,520,053株	2023年2月期	4,515,613株
② 期末自己株式数	2024年2月期	1,519株	2023年2月期	470株
③ 期中平均株式数	2024年2月期	4,516,414株	2023年2月期	4,103,601株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 国際会計基準による財務諸表及び主な注記	4
(1) 財政状態計算書	4
(2) 損益計算書及び包括利益計算書	6
(3) 持分変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の懸念材料も多く、景気を下押しするリスクが存在しています。

当社を取り巻くセキュリティサービス市場の環境としては、サイバーセキュリティ攻撃による脅威が年々増加しており、近年ではランサムウェア（身代金要求型ウイルス）によるサイバー攻撃被害が国内外の様々な企業や医療機関等で続き、国民生活や社会経済に影響が出る事例も発生しています。2023年3月には「Emotet（エモテット）」の活動再開が確認され、国民の誰もがサイバー攻撃の懸念に直面しております。

このような環境下、当社は主に中小企業向けのセキュリティ対策を支援するため、「マネージドサービスの対応領域拡大・競争力強化」「成長セキュリティ市場への参入」「既存販売網と異なる新規営業体制の強化」を中期経営計画の目標として定め、実現に向けて当事業年度より人材の獲得、サービス企画・事業開発の強化、ソフトウェア開発等の事業投資を行ってまいりました。

そして、当事業年度においては、ネットワーク機器、Wi-Fiアクセスポイントのファームウェアのアップデートやネットワークトラブルの早期発見を行い、オフィスLAN環境を健全に維持する運用アウトソーシングサービスを開始しました。また、自社のセキュリティ環境の脆弱性を診断する「脆弱性診断サービス」の提供を行い、企業のニーズに対応したサービスラインナップを拡充しました。

このような状況のもと、マネージドセキュリティサービスの売上収益は、ストック型の積み上げとその低解約率（0.70%）（注）により、安定的に推移しました。特にエンドポイントセキュリティ対策としてサイバー攻撃の兆候を検知するVarioマネージドEDRは、引き続き高い成長となりました。一方で、ワンショットの収益モデルであるインテグレーションサービスにおいては、統合セキュリティ機器（UTM）の販売低迷により、前年を下回りました。

費用については、中期経営計画の初年度として、積極的な投資（人材採用、サービス開発等）を行ったことから拡大しましたが、売上原価については引当金の戻し入れ等により前年より減少しました。

以上の結果、IFRSに準拠した当事業年度の業績は、売上収益2,640,423千円（前期比0.2%増）、営業利益520,791千円（同10.4%減）、税引前利益509,156千円（同6.1%減）、当期利益347,604千円（同9.3%減）となりました。

なお、当社は、インターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(注)解約率（金額ベース）＝年間解約金額÷（各年度の期初ベース月次売上収益×12）

(2) 当期の財政状態の概況

IFRSに準拠した当事業年度末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当事業年度末における資産合計は、7,649,933千円となり、前事業年度末に比べ176,256千円減少しました。これは主に、有形固定資産が68,761千円、無形資産が47,607千円増加し、現金及び現金同等物が217,659千円、棚卸資産が70,920千円減少したことによります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、2,101,770千円となり、前事業年度末に比べ345,447千円減少しました。これは主に、流動負債の引当金が44,260千円、非流動負債の借入金が200,000千円及びその他の非流動負債が118,072千円減少したことによります。

(資本)

当事業年度末における資本合計は、5,548,163千円となり、前事業年度末に比べ169,190千円増加しました。これは主に、当期利益の計上により利益剰余金が347,604千円増加し、配当金182,863千円により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

IFRSに準拠した当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当事業年度末における資金は、前事業年度末に比べ217,659千円減少し、当事業年度末には822,301千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、414,903千円（前事業年度は522,291千円の収入）となりました。主な増加は、税引前利益509,156千円、減価償却費及び償却費185,257千円及び棚卸資産の減少額70,920千円、主な減少は、引当金の減少額44,260千円、その他の非流動負債の減少額118,072千円、法人所得税の支払額181,763千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、173,907千円（前事業年度は138,668千円の使用）となりました。主な減少は、無形資産の取得による支出107,719千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、458,654千円（前事業年度は266,496千円の収入）となりました。主な減少は、長期借入金の返済による支出200,000千円、配当金の支払額182,764千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

ネットワークセキュリティ市場においては、リモートワークやクラウドサービスの利用拡大、サイバー攻撃の高度化の影響を受け、「侵入させない」と同時に「侵入ありき」の多層防御のセキュリティ対策が求められるようになってきております。このような環境を踏まえ、成長市場への積極的な投資を行い、当社の強みであるマネージドセキュリティサービスを各種サービスに展開して深化させていく予定です。販路拡大においては、従来の代理店に加えて新規の代理店を開拓するとともに、各種マーケティング施策を活用して獲得した見込み客を育成し、直販を推進する予定です。

上記施策により、2025年2月期の業績見通しにつきましては、売上収益2,753百万円(前期比4.3%増)、主に新規サービス企画、営業部門強化のための新規採用コストと人件費、新規販路開拓のためのマーケティングコスト等の事業投資により、営業利益485百万円(同6.9%減)、税引前利益474百万円(同6.7%減)、当期利益336百万円(同3.2%減)を予想しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年2月期より国際会計基準(IFRS)を適用しています。

3. 国際会計基準による財務諸表及び主な注記

(1) 財政状態計算書

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,039,961	822,301
営業債権及びその他の債権	443,904	458,218
棚卸資産	260,283	189,362
その他の流動資産	181,143	138,874
流動資産合計	1,925,292	1,608,758
非流動資産		
有形固定資産	158,905	227,667
のれん	5,054,613	5,054,613
無形資産	296,075	343,683
その他の金融資産	63,384	63,384
繰延税金資産	166,352	153,667
その他の非流動資産	161,566	198,159
非流動資産合計	5,900,898	6,041,175
資産合計	7,826,190	7,649,933

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	200,000	200,000
営業債務及びその他の債務	81,751	106,604
未払法人所得税等	105,254	66,297
引当金	94,858	50,597
その他の流動負債	350,810	352,911
流動負債合計	832,674	776,410
非流動負債		
借入金	1,300,000	1,100,000
リース負債	-	28,841
引当金	18,432	18,481
その他の非流動負債	296,110	178,037
非流動負債合計	1,614,542	1,325,359
負債合計	2,447,217	2,101,770
資本		
資本金	749,758	750,868
資本剰余金	2,048,261	2,051,600
利益剰余金	2,581,039	2,745,780
自己株式	△85	△85
資本合計	5,378,973	5,548,163
負債及び資本合計	7,826,190	7,649,933

(2) 損益計算書及び包括利益計算書
損益計算書

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
	千円	千円
売上収益	2,634,377	2,640,423
売上原価	1,243,543	1,176,785
売上総利益	1,390,833	1,463,638
販売費及び一般管理費	810,922	943,015
その他の収益	1,527	169
その他の費用	139	1
営業利益	581,299	520,791
金融収益	5	8
金融費用	38,911	11,643
税引前利益	542,394	509,156
法人所得税費用	159,077	161,552
当期利益	383,316	347,604
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	93.41	76.96
希薄化後1株当たり当期利益(円)	91.18	76.12

包括利益計算書

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
	千円	千円
当期利益	383,316	347,604
その他の包括利益	-	-
当期包括利益	383,316	347,604

(3) 持分変動計算書

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	330,018	1,641,719	2,351,369	△49	4,323,058
当期利益	-	-	383,316	-	383,316
当期包括利益合計	-	-	383,316	-	383,316
新株の発行	418,190	403,610	-	-	821,800
自己株式の取得	-	-	-	△36	△36
配当金	-	-	△153,647	-	△153,647
新株予約権の行使	1,550	1,550	-	-	3,100
株式に基づく報酬取引	-	1,380	-	-	1,380
所有者との取引額合計	419,740	406,541	△153,647	△36	672,597
2023年2月28日時点の残高	749,758	2,048,261	2,581,039	△85	5,378,973
当期利益	-	-	347,604	-	347,604
当期包括利益合計	-	-	347,604	-	347,604
配当金	-	-	△182,863	-	△182,863
新株予約権の行使	1,110	1,110	-	-	2,220
株式に基づく報酬取引	-	2,229	-	-	2,229
所有者との取引額合計	1,110	3,339	△182,863	-	△178,414
2024年2月29日時点の残高	750,868	2,051,600	2,745,780	△85	5,548,163

(4) キャッシュ・フロー計算書

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	542,394	509,156
減価償却費及び償却費	177,443	185,257
引当金の増減額 (△は減少)	94,858	△44,260
金融収益	△5	△8
金融費用	38,911	11,643
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△42,178	70,920
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	20,843	△14,313
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,266	42,208
その他の非流動資産の増減額 (△は増加)	12,303	△36,593
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△53,409	24,903
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△18,598	△18,766
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△51,697	△118,072
その他	3,991	△4,366
小計	720,589	607,708
利息の受取額	5	8
利息の支払額	△14,779	△11,049
法人所得税の支払額	△183,524	△181,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	522,291	414,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,255	△66,188
無形資産の取得による支出	△112,413	△107,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,668	△173,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	815,366	-
新株予約権の行使による収入	3,100	2,220
長期借入れによる収入	1,600,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,900,000	△200,000
リース負債の返済による支出	△97,770	△78,110
自己株式の取得による支出	△36	-
配当金の支払額	△153,412	△182,764
その他	△749	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	266,496	△458,654
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	650,120	△217,659
現金及び現金同等物の期首残高	389,846	1,039,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,039,961	822,301

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)
 該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)
 該当事項はありません。

(追加情報)
 該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社はインターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(2) 商品及びサービスに関する情報

商品及びサービスごとの外部顧客に対する売上収益は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
	千円	千円
売上収益		
マネージドセキュリティサービス	2,240,442	2,308,116
インテグレーションサービス	393,935	332,307
顧客との契約から生じる収益	2,634,377	2,640,423
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	2,634,377	2,640,423

(3) 地域別に関する情報

売上収益

当社営業活動はすべて日本国内におけるものであり、外国に帰属する収益がないため、記載を省略しております。

非流動資産

本邦以外に所在している非流動資産がないため、該当事項はありません。

(4) 主要な顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
	千円	千円
株式会社USEN ICT Solutions	711,354	797,465
ソフトバンク株式会社	605,994	584,728

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり資本合計	1,191.32円	1,227.87円
基本的1株当たり当期利益	93.41円	76.96円
希薄化後1株当たり当期利益	91.18円	76.12円

(注) 基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
基本的1株当たり当期利益		
当期利益 (千円)	383,316	347,604
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期利益 (千円)	383,316	347,604
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,103,601	4,516,414
希薄化後1株当たり当期利益		
当期利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	100,220	49,937
(うち新株予約権 (株))	(100,220)	(49,937)
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。